

■帯広畜産大が接戦制して2勝目。第3節

第49回北海道学生選手権は第3節の10日、帯広畜産大学グラウンドで1部の1試合を行い、帯広畜産大が28-20で釧路公立大に競り勝った。帯広畜産大は第1節に続いて2連勝。釧路公立大は1敗。第4節は9月17日、札幌市円山競技場で北海学園大-室蘭工業大、北海道大-北星学園大の2試合を行う。

前年度3位の釧路公立大と同4位の帯広畜産大のライバル対決は、ビッグプレーの応酬で点の取り合いになった。第1Q0分53秒に釧路がLB佐々木葵空(2年、秋田・角館高)の37ヤードファンブルリターンで先制すると、帯広も同7分にQB外崎智文(3年、大野農業高)の50ヤードランで7-7の同点に。第2Q5分に帯広がRB安澤十野(1年、帯広柏葉高)の14ヤードランで勝ち越すと、第3Q2分に釧路がRB内海太陽(4年、江差高)の57ヤードランで14-14と追いついた。



試合が動いたのは同5分。釧路がDB吉川佳吾(4年、岩見沢東高)の47ヤードインターセプトリターンTDで勝ち越すが、PATのキックを失敗。同7分に帯広がQB外崎からRB安澤への64ヤードのスクリーンパスで21-20と逆転した。帯広は第4Q6分、QB外崎の2本目のTDランとなる12ヤードキープが決まり28-20とリードを広げ、釧路の反撃を封じて逃げ切った。

帯広畜産大の玉川雄太HCは「第3Qに相手がPATのキックを外した直後にTDを奪い、逆転できたのが大きかった。QB外崎は走って、投げて最高のプレーだった。次の北海道大戦への弾みになる」と選手たちをたたえた。2TDランと1TDパスで殊勲のQB外崎は「1本目のTDは、スクリーメージを抜けるとぽっかりと穴が空いていた。2本目もラインのブロックのおかげ。守備でも相手エースWRへのパスをカットできた」と興奮気味に振り返りながら「自分たちは人数が少ないので、時間のコントロールを考えたプレー選択が成功した。北大戦も今できることを完璧に行って挑みたい」と力を込めた。

釧路公立大の伊藤祐介コーチ(横浜国立大OB)は「守備で2本のTDは大きな収穫。攻撃はもう一度やり直して、残り4試合に挑む。この試合の結果をチーム全体でどう生かすかだ」と巻き返しを誓っていた。

【記録】

▼アメリカンフットボール 第49回北海道学生選手権第3節(9月10日・帯広畜産大グラウンド)

▽1部

帯広畜産大(2勝) 28-20 釧路公立大(1敗)